

VI. 情報提供

1. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
技術情報誌 「KAMA(窯)」	研究紹介、技術情報、お知らせ ●47号 特集記事・シリーズ ○陶磁器の課題と対策「欠点は切ってみないとわからない!？」吉田 英樹 ○センター活用辞典 ①熱分析装置 高松 宏行、秋月 俊彦 ②X線分析顕微鏡 狩野 伸自 ○未利用資源から機能性セラミックス「ゼオライト」製品の開発 秋月 俊彦 ○産地とデザイン、企業とブランディング 桐山 有司 ○日本遺産のふるさと（その4 三川内焼の古窯跡）永石 雅基 ●48号 特集記事・シリーズ ○陶磁器の課題と対策「経験＋可視化＝歩留まりを上げる」河野 将明 ○センター活用辞典 ①イオンクロマトグラフ（環境・機能材料科） ②原子吸光光度計 ○廃石膏のリサイクルをめざして 山口 典男 ○センターを活用した課題解決－はりつき支援事業 久田松 学 ○エッセイ『くらわんか』イノベーション 武内 浩一	A4判 6ページ 発行月 6月(47号) 1月(48号) 発行部数 1,300部

業務報告	<ul style="list-style-type: none"> ○概要（沿革、業務内容、組織、職員配置、決算、土地建物、設備等） ○研究業務（研究、発表、産業財産権等） ○技術支援業務（技術相談、企業訪問等） ○依頼業務（依頼試験、開放設備） ○技術者養成（人材養成事業、研修受入） ○情報提供（原稿依頼、刊行物等） ○その他（意見交換会、一般公開等） 【資料】窯業・土石製品出荷額 	A4判37ページ 発行月：6月 発行部数：300部
研究報告	<ul style="list-style-type: none"> ○経常研究4件 「3Dデータを活用した精密な陶磁器製造技術の開発」 依田 慎二・永石 雅基・秋月 俊彦 「機能性素材を活用した水質浄化装置の製品化に関する研究」 狩野 伸自・秋月 俊彦 「機能性を有する遠赤外線放射部材の製品化」 山口 典男・永石 雅基 「デジタル印刷技術を利用した転写紙作製技術に関する研究」 久田松 学・吉田 英樹 ○受託研究1件 「磨石膏の効率的焼成と高付加価値化の検討」 山口 典男・高松 宏行 ○新製品・新技術共同開発事業1件 「飯粒」汚れが付きにくい食器の開発 武内 浩一 ○学協会誌等からの転載2件 	A4判36ページ 発行月：11月 発行部数：220部

2. 映像情報の提供

映像情報	内 容	使 用 者
「透視型ガス焼成炉システム」紹介ビデオ「炎の扉を開く」	<ul style="list-style-type: none"> ○使用目的 ・清水焼窯元が作製している亜鉛結晶釉製品を紹介する番組で、窯の中で結晶釉が成長する様子を、視聴者にわかり易く伝えるため。 ○放送日時 ・平成30年4月29日（日） 6:15～6:30 	毎日放送 「京都知新」
窯業技術センター紹介ビデオ「長崎県窯業技術センター：開かれた情報交流館」	<ul style="list-style-type: none"> ○使用目的 ・「やきものの製造工程」の製土シーンを、陶土がどういったものかを説明するため。 ・「長崎県窯業技術センターの概要」のランプシェードのシーンを、陶磁器の様々な用途を説明するため。 ○放送日時 ・平成30年10月20日（土） 19:30～20:15 ・平成30年10月27日（土） 19:30～20:15 	NHK 「ブラタモリ」
透視炉で撮影したビデオテープ「染付白 1300℃」（1996.05.30-31 撮影）	<ul style="list-style-type: none"> ○使用目的 ・さまざまな技術が積み重なって生まれた染付が、仕上がるまで窯の中でどのような変化が起こっているかを伝えるため。 ○放送日時 ・平成31年3月30日（土） 18:30～20:00 	NHK・BSプレミアム「陶王子 2万年の旅 器の来た道」

3. ホームページによる業務紹介

目 的	窯業技術センターの業務や活動内容を多くの人々に周知する。
ア ド レ ス	http://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/
アクセス件数	トップページへのアクセス数：10,941件 総アクセスページ数：29,180件 期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日